

行田委員

公明党の行田です。

公明党神奈川県議団を代表しまして、本委員会に付託されました諸議案に賛成の立場から意見要望を申し述べます。

まず、超過課税についてです。

払った税金がどこの何に使われるのかが明確になってこそ、行政に対する信頼が生まれます。納税の義務を感じるというものであります。活用事業については、企業や県民の理解を得ることができるよう、情報公開をしっかりと行っていただくよう要望します。

次に、収入未済金の削減に向けた取組についてであります。

公平性の確保等の観点から、非常に重要な問題であり、これまでも増して、貸付け段階での厳格な説明や、裁判所を通じた解決、あるいは給与差し押さえなど、あらゆる手段で徹底した回収対策を進めることを要望します。

次に、残業ゼロ革命についてであります。

革命というネーミングにふさわしい行政改革をお願いしたいと思います。小手先のやりくりで残業を短くすることが目的ではなく、仕事そのものを見直し、仕事をやめる勇気が求められています。特に、課長以上の役職者が、仕事のやり方、仕組みを見直し、部下の仕事量を減らすことで残業を減らす。目先ではなく、本質的に行政改革を行うことで、結果的に残業ゼロにたどり着くという正道を貫くよう要望します。

次に、条例の見直しについてであります。

今回の見直し結果を受けて、今後、廃止または改正を行う条例も数多くあると思います。条例の見直しは大変重要であります。このたび、全国的な問題となった神奈川県の不祥事は、神奈川県職員等不祥事防止対策条例があるにもかかわらず発生してしまった事件でした。

このような全く意味をなさない条例をつくることがないよう、我が会派としてもチェックをより厳格にしますとともに、当局におかれましては、条例の具体性及び実効性を追求されるよう強く要望いたします。また、今後は、実効性ある条例にすべて改正していけるよう、条例制定後の状況を精査し、条例の見直しを徹底して行っていただくよう要望します。

次に、ICT部門の業務継続計画、BCPについてであります。

ICT部門につきましては、今回議論しましたBCPだけでなく、今後の業務のIT化推進のため、継続的な人材育成と予算措置を進めるよう要望します。

次に、人事制度改革と本庁組織の再編に係る懸念についてであります。管理職登用試験導入は、場合によっては優秀な人材を的確に登用し抜てきするという本県の優れた仕組みを壊してしまうのではないかと懸念をしております。こうした懸念を払しょくするよう、総合的な判断を継続するよう要望します。また、継続性ある行政の業務を考慮した場合、非常勤職員についても有能な方を評価するような仕組みをつくるよう要望します。

さらに、本庁組織の再編においては、課が小分け化されフレキシブルになる

ように見えますが、行革という言葉によって形式主義に陥ることなく、実効性ある再編となるよう、これまでの有様を精査し、変えるべきものと、変えてはいけないものを区別した上で、機能の強化を図っていただくよう要望します。

最後に、不正経理についてであります。

二度と発生させないとの決意は重いわけですが、そのための準備と行動は重要であります。他の自治体でも類似した状況のようではありますが、取引先選定、注文依頼、研修、支払と、購買業務の仕組みを徹底的に見直し、実行されるよう要望します。

また、今回、預け金事件を発生され、公金を詐取した職員は懲戒処分となりましたが、預け金づくりに加担した業者については処分しないとのことであり、預け金づくりに協力した業者は、それにより継続的な受注機会を獲得し、利益を得たわけですが、一方で、そうした悪事には加担せず、正義を貫いた業者が数多くあるということも事実であります。こうした事実を調べることもなく、これまで預け金づくりに加担してきた業者について県は一切処分しない、無罪放免とのことであり、徹底議論させていただきましたが、これまでのルールに照らすと処分できないとのことでした。県民目線から見れば、なぜなのかと疑問を感じざるを得ません。一方、これから発生したものは許さない仕組みにするとのことですが、先ほどの購買の仕組みと併せて、不祥事の処分についても、全国に先駆け正に神奈川方式をつくり上げていただくことを強く要望いたします。

さらに、不正防止の具体的な事例を申し上げます。自治体施設の自動販売機の設置については、他の自治体では入札制度を取り入れて大きな収入増加を得たところが出てきています。自動販売機の設置は、その契約で利権を伴うものがあり、これまでの不明朗な決定ではなく、本県としても県有施設の自動販売機設置については、可能な限りすべてを入札にするよう見直し、収入増と、透明性の確保をしていただくよう要望いたします。

以上、意見、要望を申し上げ、本委員会に付託されました諸議案に賛成をいたします。